

## 第66回

# トラック運送業界の景況感（速報）

平成21年4月～6月期

---

---

平成21年4～6月期の国内景気をみると、生産活動に持ち直しがみられ、世界的な金融危機の影響による景気の急速な悪化にはブレーキがかかりつつある。その一方で、設備や雇用の過剰感の解消ペースは遅く、所得環境の悪化による個人消費への下押し圧力、景気の二番底も依然として懸念されている。

このような中、トラック運送業界の業界の景況感の判断指標は▲120となり、前回から13ポイント改善した（前回▲133）。ただし、水準としては平成5年1～3月期に調査を開始して以来3番目に低く、底入れの実感は薄い。

平成21年7～9月期の見通しは、判断指標は▲102で、低水準ながらも改善する見込み。

---

---

平成21年7月31日

社団法人 全日本トラック協会

## 1. 今回（平成21年4月～6月期）の状況

### (1)概況

平成21年4～6月期におけるトラック運送業界の景況感は、「悪化」とした事業者は82%（前回86%）、「好転」とした事業者は4%（前回1%）で、判断指標は▲120となり、前回から13ポイント改善した（前回▲133）。ただし、水準としては平成5年1～3月期に調査を開始して以来3番目に低く、底入れの実感は薄い。

貨物別では、前回水準の低かった特別積合せ貨物では改善傾向がみられたが、一般貨物は足踏みしている。

### (2)特別積合せ貨物

宅配貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が75%、「増加」とする事業者が8%で、判断指標は▲99となり、前回（▲111）から12ポイント改善した。営業収入は「減少」とする事業者が73%、「増加」とする事業者が7%で、判断指標は▲99となり、前回（▲108）から9ポイント改善した。営業利益は「減少」とする事業者が68%、「増加」とする事業者が9%で、判断指標は▲90となり、前回（▲107）から17ポイント改善している。

宅配以外の特積貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が79%、「増加」とする事業者が6%で、判断指標は▲110となり、前回（▲125）から15ポイント改善した。営業収入は「減少」とする事業者が79%、「増加」とする事業者が5%で、判断指標は▲112となり、前回（▲124）から12ポイント改善した。営業利益は「減少」とする事業者が70%、「増加」とする事業者が9%で、判断指標は▲94となり、前回（▲117）から23ポイント改善している。

### (3)一般貨物

一般貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が78%、「増加」とする事業者が5%で、判断指標は▲106と、前回（▲106）から変化がみられなかった。営業収入は「減少」とする事業者が77%、「増加」とする事業者が5%で、判断指標は▲106となり、前回（▲108）から2ポイント改善した。営業利益は「減少」とする事業者が74%、「増加」とする事業者が7%で、判断指標は▲99となり、前回（▲103）から4ポイント改善している。

### (4)運賃水準

運賃水準は、宅配貨物の判断指標は▲47（前回▲41）、宅配以外の特積貨物は▲40（前回▲38）、一般貨物は▲46（前回▲40）となり、小幅下落している。

### (5)実働率等

実働率は▲87（前回▲86）、実車率は▲80（前回▲75）で、低下が続いている。

雇用状況は▲48（前回▲42）で、やや人手の過剰感がみられる。採用状況は▲43（前回▲47）で、やや減少となっている。所定外労働時間は▲72（前回▲68）で、減少となっている。

保有車両台数は▲36（前回▲30）でやや減少、貨物の再委託（下請運送会社への委託）は▲74（前回▲75）で減少が続いている。

#### (6) 地域別および取扱い品目別

業界の景況感を地域別にみると、北海道は悪化、その他の地域は大幅悪化であった。とくに中部、中国の水準が低い。

事業者の規模別にみると、大規模事業者、中規模事業者、小規模事業者の全てで大幅悪化となっているが、大規模事業者は相対的に悪化幅が小さい。

主な取扱い品目別では、すべての品目で大幅悪化だが、消費関連貨物は相対的に悪化幅が小さい。

## 2. 今後（平成21年7月～9月期）の見通し

### (1) 概況

平成21年7～9月期の見通しは、業界の景況感の判断指標は▲102で、低水準ながらも改善する見込み。

### (2) 特別積合せ貨物

宅配貨物は、輸送数量、営業収入、営業利益とも改善がみられる見込み。

宅配以外の特積貨物は、輸送数量、営業収入は大幅な改善がみられる見込み。

### (3) 一般貨物

一般貨物は、輸送数量、営業収入、営業利益とも改善がみられる見込み。

### (4) 運賃水準

各貨物とも大きな変化はみられず、やや下落の見込み。

### (5) 実働率等

実働率、実車率とも改善がみられる見込み。

雇用状況（人手の過剰感）、採用状況には改善がみられない見込み。所定外労働時間の減少には改善がみられる見込み。

保有車両台数は引き続きやや減少、貨物の再委託（下請運送会社への委託）は減少ながらもやや改善する見込み。

### (6) 地域別および取扱い品目別

業界の景況感を地域別にみると、すべての地域で改善を見込んでいる。

事業者の規模別では、大規模事業者を筆頭に、全ての規模で改善を見込んでいる。

主な取扱い品目別では、機械関連貨物を筆頭に、すべての品目で改善を見込んでいる。

### 3. 特積貨物の概況

項 目		概 況	
宅	輸送数量	前回 1 2 今回 1 1 見通 1 1	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回より改善し、減少となった。地域別では中国、近畿、東北、関東、中部は大幅減少となっている。</li> <li>・ 今後は今回より改善するものの、減少が続く見込み。</li> </ul>		
	営業収入 (売上高)	前回 1 2 今回 1 1 見通 1 1	
配	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回よりやや改善し、減少となった。地域別では中国、近畿、東北、中部、関東は大幅減少となっている。</li> <li>・ 今後は今回より改善するものの、減少が続く見込み。</li> </ul>		
	営業利益	前回 1 1 今回 1 1 見通 1 1	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回より改善し、減少となった。地域別では近畿、中国、中部は大幅減少となっている。四国、北海道はやや減少に留まった。</li> <li>・ 今後は今回より改善するものの、減少が続く見込み。</li> </ul>		
貨	運賃・料金の水準	前回 0 4 今回 0 3 見通 0 2	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回よりやや悪化し、やや下落が続いている。地域別では近畿は下落、東北、北海道は横ばいとなっている。</li> <li>・ 今後も今回と同様に、やや下落が続く見込み。</li> </ul>		

#### 【調査の概要】

- ◆平成5年3月より開始、以降3カ月ごとに実施。今回は平成21年6月26日に配布。平成21年7月21日到着分までを集計。
- ◆回収率：73.6%

	特 積	一 般	合 計
調査対象	2 5 8	6 4 2	9 0 0
回収数	1 4 3	5 1 9	6 6 2

項 目		概 況	
宅配	輸送数量	前回 0 今回 1 見通 1	 (-125) (-110) (-79)
	<p>・ 前回より改善したものの、大幅減少が続く。地域別では東北の水準が特に低い。九州、北海道は減少に留まる。</p> <p>・ 今後は今回より大幅に改善して、減少に転じる見込み。</p>		
以外	営業収入 (売上高)	前回 0 今回 1 見通 1	 (-124) (-112) (-81)
	<p>・ 前回より改善したものの、大幅減少が続く。地域別では東北の水準が特に低い。九州、北海道は減少に留まる。</p> <p>・ 今後は今回より大幅に改善して、減少に転じる見込み。</p>		
特積	営業利益	前回 1 今回 1 見通 1	 (-117) (-94) (-72)
	<p>・ 前回より改善し、減少となった。地域別では近畿の水準が特に低い。北海道、四国、九州はやや減少に留まる。</p> <p>・ 今後は今回より改善するものの、減少が続く見込み。</p>		
貨物	運賃・料金の水準	前回 0 今回 1 見通 1	 (-38) (-40) (-44)
	<p>・ 前回と同様に、やや下落が続く。地域別では近畿、中国で下落、一方、四国は横ばいとなっている。</p> <p>・ 今後も今回と同様に、やや下落が続く見込み。</p>		

凡例

	大幅に 増加・上昇・好転・人手不足	+ 2点
	やや 増加・上昇・好転・人手不足	+ 1点
	横ばい	0点
	やや 減少・低下・悪化・人手過剰	- 1点
	大幅に 減少・低下・悪化・人手過	- 2点

(注1) 各グラフの上段は前回の状況、中段は今回の状況、下段は今後の見通しを示す。

(注2) 各グラフの構成比は四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。

(注3) グラフ右のカッコ内は業況判断指標。指標は、各設問の回答に対し、増加・好転+1~+2、横ばい0、減少・悪化-1~-2の点数を与え、1事業者当たりの平均を100倍することにより算出している。

A (設問Aの回答者数) = a<sub>1</sub>+a<sub>2</sub>+a<sub>3</sub>+a<sub>4</sub>+a<sub>5</sub> (設問Aの選択肢1~5の回答数の和)

指標 = { (+2×a<sub>1</sub>) + (+1×a<sub>2</sub>) + (0×a<sub>3</sub>) + (-1×a<sub>4</sub>) + (-2×a<sub>5</sub>) } ÷ A × 100

#### 4. 一般貨物の概況

項 目	概 況
<b>輸送数量 (全体)</b>	<p>前回 1 3 20 43 34 (-106)          今回 1 4 18 43 35 (-106)          見通 1 5 30 40 25 (-84)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回と同様に、大幅減少が続く。地域別では北海道、九州、四国で、品目別では消費関連貨物で、それぞれ減少に留まった。</li> <li>・今後は今回より改善して、減少に転じる見込み。</li> </ul>
<b>営業収入 (売上高)</b>	<p>前回 0 3 19 44 34 (-108)          今回 2 3 19 41 36 (-106)          見通 1 5 26 42 26 (-88)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回と同様に、大幅減少が続く。地域別では中部、中国、品目別では機械関連貨物の水準が特に低い。</li> <li>・今後は今回より改善して、減少に転じる見込み。</li> </ul>
<b>営業利益</b>	<p>前回 1 5 19 41 34 (-103)          今回 2 5 20 40 34 (-99)          見通 1 5 28 43 24 (-84)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回よりわずかに改善し、減少となった。地域別では中部で特に水準が低い。北海道はやや減少に留まった。規模別では、小規が小さくなるほど悪化幅が大きい。</li> <li>・今後は今回より改善するものの、減少が続く見込み。</li> </ul>
<b>運賃・料金の水準</b>	<p>前回 0 4 61 28 8 (-40)          今回 1 2 58 31 8 (-46)          見通 1 1 57 32 9 (-48)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回よりやや悪化し、やや下落が続いている。地域別、規模別、品目別のすべてで、やや下落となっている。</li> <li>・今後も今回と同様に、やや下落が続く見込み。</li> </ul>

## 5. 共通の概況

項目	概況
実働率	<p>・前回と同様に低下が続く。地域別では中部、中国は大幅低下。一方、北海道はやや低下に留まった。品目別では、機械関連貨物、その他貨物、建設関連貨物で大幅低下。 ・今後は今回より改善するものの、低下が続く見込み。</p>
実車率	<p>・前回よりやや悪化し、低下が続く。地域別では中部、中国は大幅低下、北海道はやや低下に留まる。 ・今後は今回より改善するものの、低下が続く見込み。</p>
雇用状況 (人手の過不足)	<p>・前回よりやや悪化し、やや人手過剰。地域別では北海道では過不足のない状態。一方、北陸信越、中部、品目別では機械関連貨物で過剰となっている。 ・今後も今回と同様に、やや人手過剰の見込み。</p>
採用状況	<p>・前回よりやや悪化し、やや減少が続く。地域別では東北で減少となっている。 ・今後も今回と同様に、やや減少が続く見込み。</p>
所定外労働時間	<p>・前回と同様に減少が続く。地域別では中国、品目別では機械関連貨物で大幅減少となっている。 ・今後は今回より改善するものの、減少が続く見込み。</p>

項 目	
保有車両台数	<p>・前回よりやや悪化し、やや減少が続く。地域別、規模別、品目別のすべてで、やや減少となっている。 ・今後は今回よりやや改善するものの、やや減少が続く見込み。</p>
貨物の再委託	<p>・前回と同様に減少が続く。地域別では中国で大幅減少、一方、北海道ではやや減少に留まる。 ・今後は今回よりやや改善するものの、減少が続く見込み。</p>
経常損益	<p>・前回よりやや改善し、悪化となった。地域別では中部、中国、近畿、関東、規模別では小規模事業者、品目別では機械関連貨物、その他貨物、建設関連貨物で大幅悪化となっている。 ・今後は今回より改善するものの、悪化が続く見込み。</p>
業界の景況感	<p>・前回より改善したものの、大幅悪化が続いている。地域別では北海道のみ悪化に留まる。規模別、品目別では、おしなべて大幅悪化となっている。 ・今後は今回より改善するものの、大幅悪化が続く見込み。</p>



## 6. 事業者特性別の特徴

事業者特性	特 徴																																																												
<p>① 地域（注4）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道は、全国順位1位を継続し、景況感は改善。</li> <li>・東北は、全国順位6位から4位に上がり、景況感は改善。</li> <li>・北陸信越は、全国順位7位から5位に上がり、景況感は大幅改善。</li> <li>・関東は、全国順位2位から6位に下がったが、景況感は横ばい。</li> <li>・中部は、全国順位8位から9位に下がったが、景況感は横ばい。</li> <li>・近畿は、全国順位5位から7位に下がったが、景況感は改善。</li> <li>・中国は、全国順位9位から8位に上がり、景況感は改善。</li> <li>・四国は、全国順位3位のままだが、景況感は改善。</li> <li>・九州は、全国順位4位から2位に上がり、景況感は改善。</li> </ul> <p>◆「業界の景況感」の業況判断指標の地方ブロック別順位◆</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>H 2 1 年 1～3月期</td> <td></td> <td>H 2 1 年 4～6月</td> <td></td> <td>H 2 1 年 7～9月期見通し</td> </tr> <tr> <td>1位</td> <td>北海道</td> <td>→</td> <td>北海道</td> <td>→</td> <td>北海道</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>関東</td> <td>↘</td> <td>九州</td> <td>↗</td> <td>北陸信越</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>四国</td> <td>↗</td> <td>四国</td> <td>↘</td> <td>四国</td> </tr> <tr> <td>4位</td> <td>九州</td> <td>↗</td> <td>東北</td> <td>↘</td> <td>近畿</td> </tr> <tr> <td>5位</td> <td>近畿</td> <td>↘</td> <td>北陸信越</td> <td>↗</td> <td>東北</td> </tr> <tr> <td>6位</td> <td>東北</td> <td>↘</td> <td>関東</td> <td>↗</td> <td>関東</td> </tr> <tr> <td>7位</td> <td>北陸信越</td> <td>↗</td> <td>近畿</td> <td>↘</td> <td>九州</td> </tr> <tr> <td>8位</td> <td>中部</td> <td>↘</td> <td>中国</td> <td>↗</td> <td>中部</td> </tr> <tr> <td>9位</td> <td>中国</td> <td>↗</td> <td>中部</td> <td>↘</td> <td>中国</td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>文字の凡例</p> <p>標準文字: やや悪化</p> <p>ゴシック: 悪化</p> <p>反転文字: 強い悪化</p> </div>		H 2 1 年 1～3月期		H 2 1 年 4～6月		H 2 1 年 7～9月期見通し	1位	北海道	→	北海道	→	北海道	2位	関東	↘	九州	↗	北陸信越	3位	四国	↗	四国	↘	四国	4位	九州	↗	東北	↘	近畿	5位	近畿	↘	北陸信越	↗	東北	6位	東北	↘	関東	↗	関東	7位	北陸信越	↗	近畿	↘	九州	8位	中部	↘	中国	↗	中部	9位	中国	↗	中部	↘	中国
	H 2 1 年 1～3月期		H 2 1 年 4～6月		H 2 1 年 7～9月期見通し																																																								
1位	北海道	→	北海道	→	北海道																																																								
2位	関東	↘	九州	↗	北陸信越																																																								
3位	四国	↗	四国	↘	四国																																																								
4位	九州	↗	東北	↘	近畿																																																								
5位	近畿	↘	北陸信越	↗	東北																																																								
6位	東北	↘	関東	↗	関東																																																								
7位	北陸信越	↗	近畿	↘	九州																																																								
8位	中部	↘	中国	↗	中部																																																								
9位	中国	↗	中部	↘	中国																																																								
<p>② 規模（注5）</p>	<p>・業界の景況感は、大規模事業者、中規模事業者、小規模事業者の全てで大幅悪化となっているが、大規模事業者では相対的に悪化幅が小さい。</p>																																																												
<p>③ 品目（注6）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費関連貨物は大幅悪化だが、品目別では相対的に厳しさは緩やか。一般貨物の輸送数量では、農水産品は改善し、悪化幅が小さい。今後はやや改善し、悪化幅を縮める見込み。</li> <li>・建設関連貨物は前回からさらに水準を下げ、大幅悪化を更新。一般貨物の輸送数量では、金属製品の落ち込みが著しい。今後は今回よりは改善するものの、引き続き厳しい見込み。</li> <li>・機械関連貨物は前回より改善したが、引き続き品目別で最も悪い。一般貨物の輸送数量では、輸送機械は低水準ながらも改善、電気機械、その他機械は改善の勢いが弱い。今後は今回より改善するものの、引き続き厳しい見込み。</li> <li>・その他貨物は大幅悪化であった。一般貨物の輸送数量では、金属、金属製品、その他製造工業品などの水準が低い。今後は今回より改善するものの、引き続き厳しい見込み。</li> </ul>																																																												

(注4) 地域分類は地方運輸局管轄地域区分に基づく。

(注5) 規模別分類

大規模事業者：101両以上 中規模事業者：21両以上100両以下 小規模事業者：20両以下

(注6) 品目別分類

消費関連貨物：農水産品、食料工業品、日用品など

建設関連貨物：林産品、砂利、砂、石材、建設用資材、窯業品(セメント等)など

機械関連貨物：電気機械(家電含む)、輸送機械(自動車等)など

その他貨物：石炭、原油、金属、石油、化学、紙・パルプなど

## 7. 景況感一覽表

		特積貨物						一般貨物			雇用関連			総合計		
		宅配貨物			宅配以外の特積貨物											
全 体		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↘	↘	↓	↓	↓
地 域	北海道	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
	東北	↓	↓	↘	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↓	↓	↓	↓	↓
	北陸信越	↓	↓	↘	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↓	↓	↘	↓	↓	↘
	関東	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↓	↓	↓	↘	↘	↘	↓	↓	↓
	中部	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↓	↓	↓
	近畿	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↓	↘	↓	↓	↓
	中国	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↓	↓	↓
	四国	↘	↘	↘	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↘	↘	↓	↓	↓
	九州	↓	↓	↓	↓	↘	↓	↓	↓	↓	↘	↘	↘	↓	↓	↓
事業者規模	小規模事業者	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↘	↘	↓	↓	↓
	中規模事業者	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↓	↘	↓	↓	↓
	大規模事業者	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↘	↘	↓	↓	↓
取り扱い品目	消費関連貨物	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↘	↘	↓	↓	↓
	建設関連貨物	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↘	↘	↓	↓	↓
	機械関連貨物	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	その他貨物	↓	↓	↓	↓	↓	↘	↓	↓	↓	↘	↓	↘	↓	↓	↓

(注7) 各項目は、関連する判断指標(前年同期に対する水準)から平均値を算出。

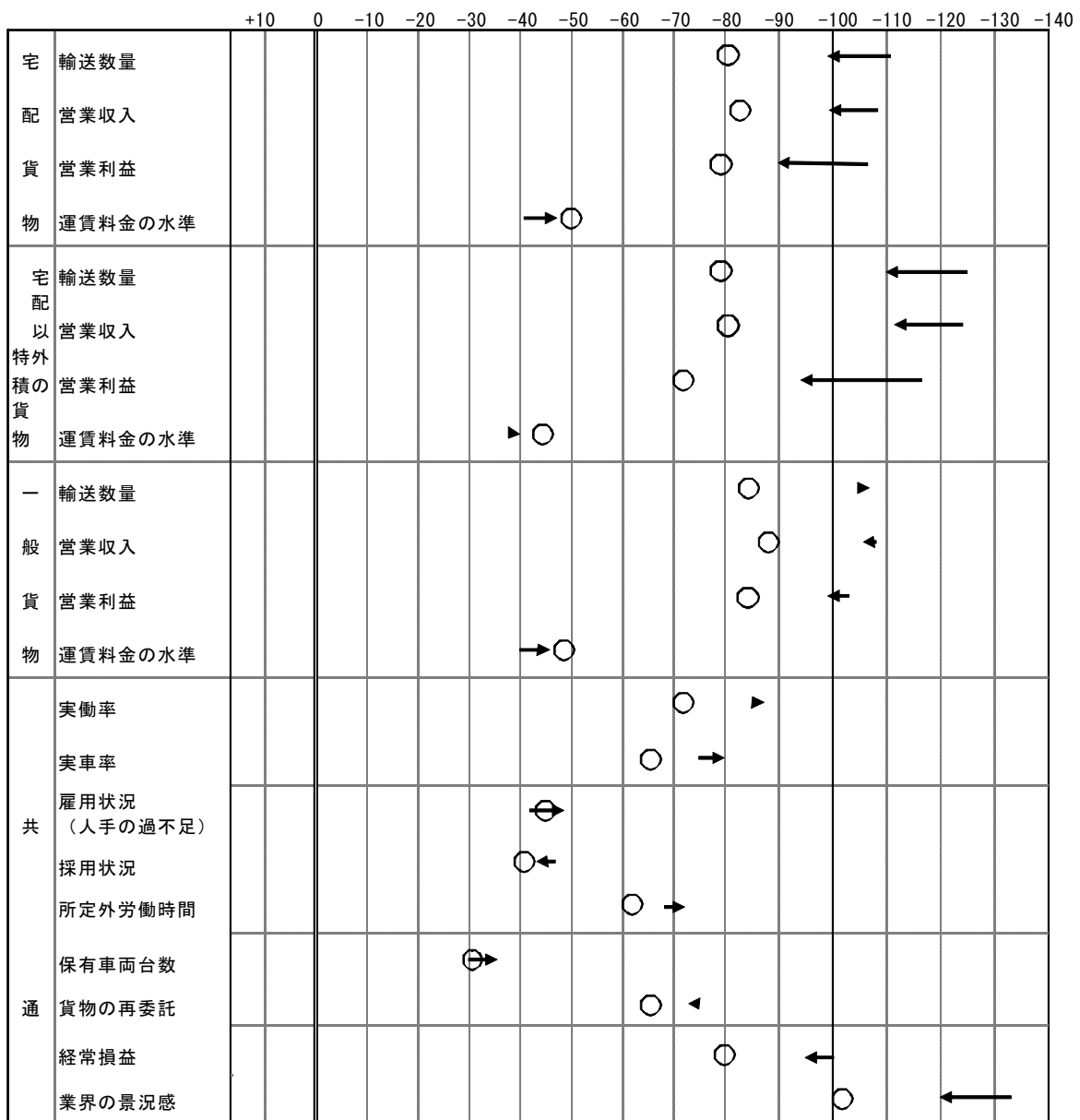
貨物別については、輸送数量、営業収入、営業利益、運賃水準の平均値で判断。

凡例・各欄は、左:前回(1-3月) 中央:今回(4-6月) 右:見通し(7-9月)

・矢印と判断指標の対応

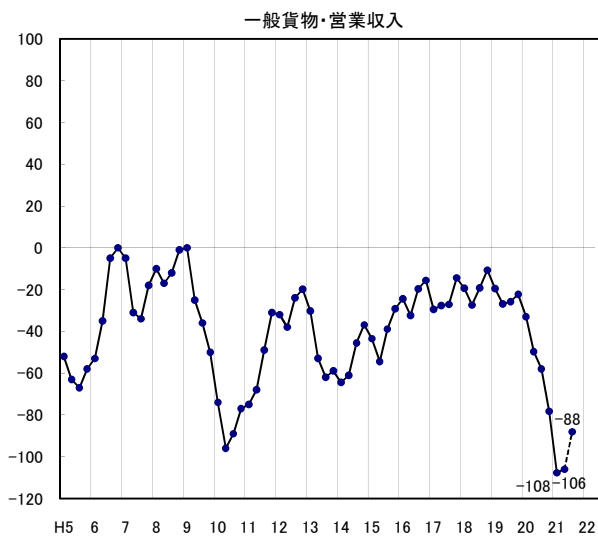
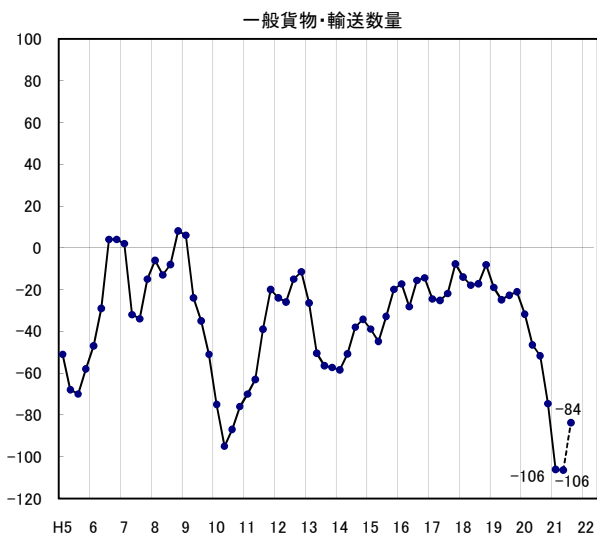
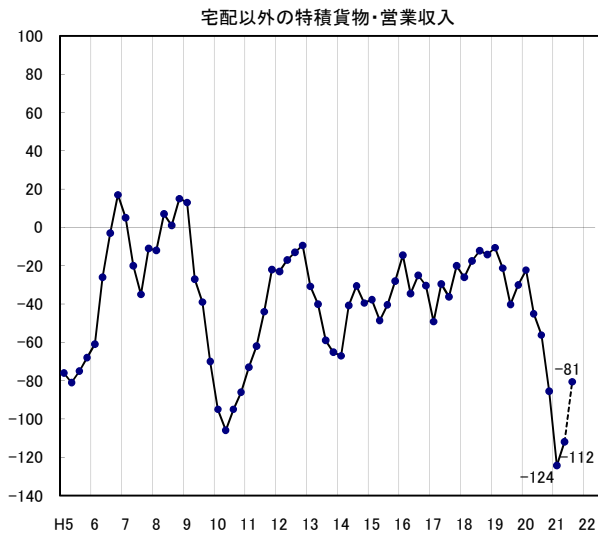
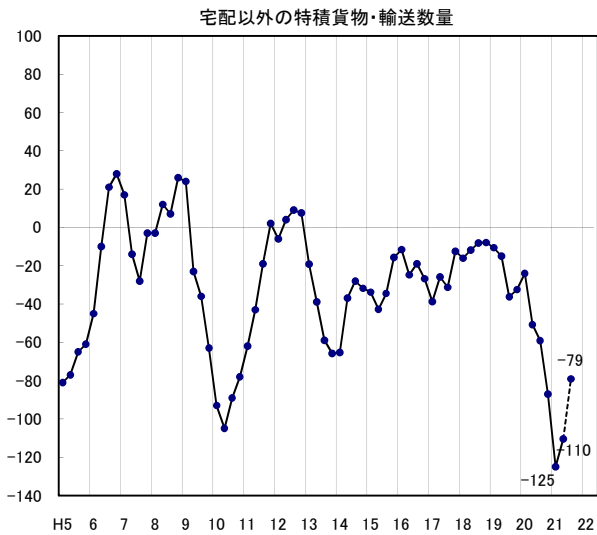
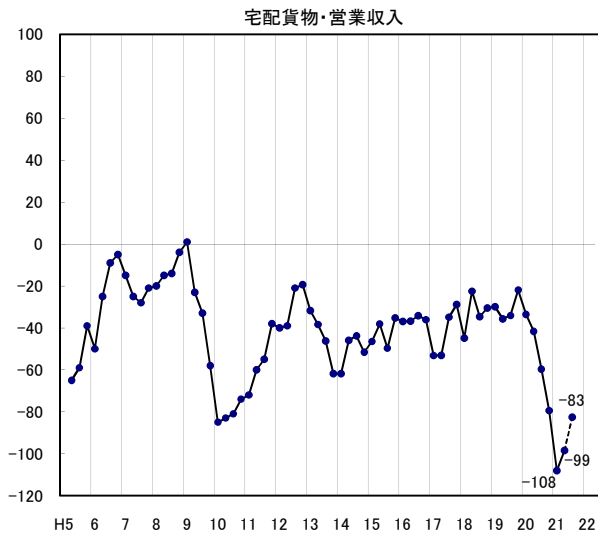
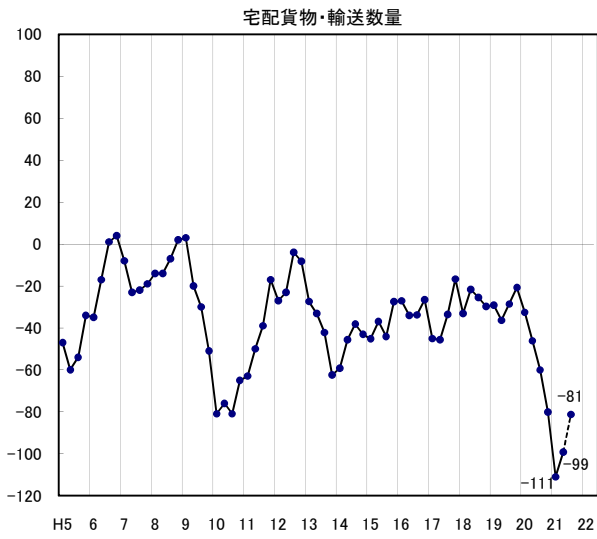
判断指標	… -100 … -60 … -20 … +20 … +60 … +100 …
矢 印	↓ ↓ ↘ → ↗ ↑ ↗

### 8. 業況判断指標の前回調査（平成21年1月～3月期）からの変化

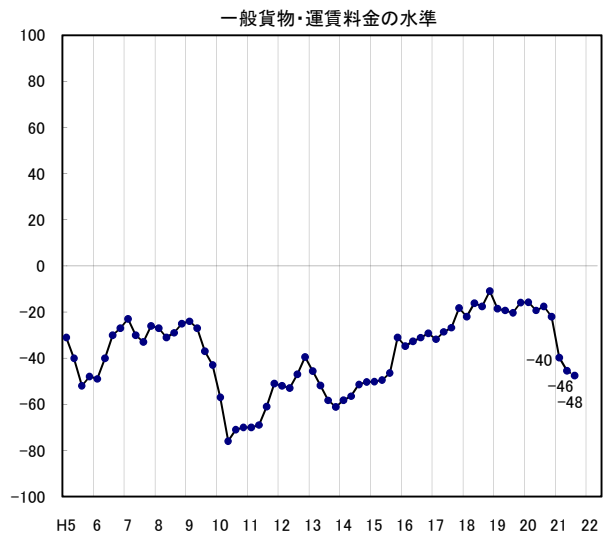
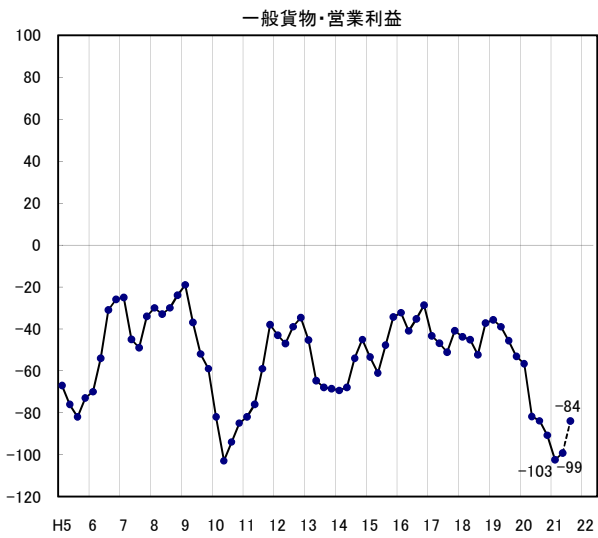
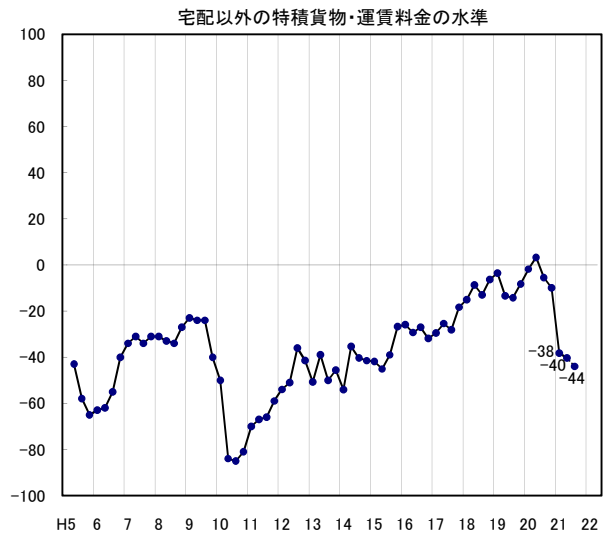
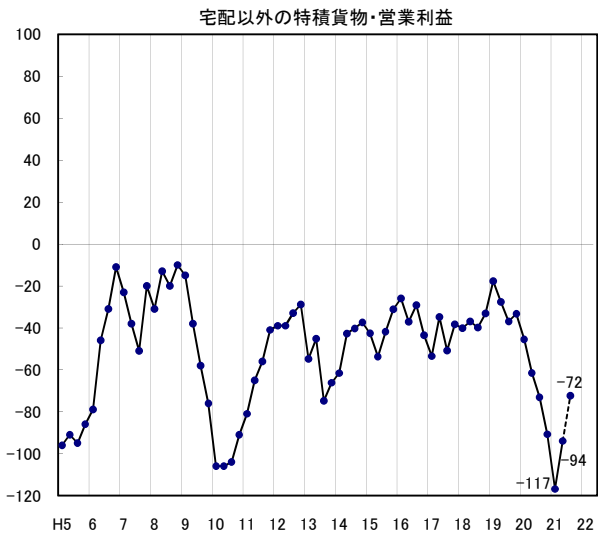
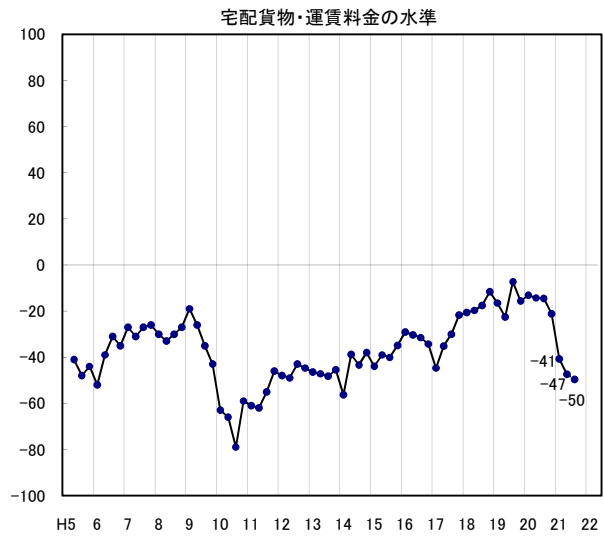
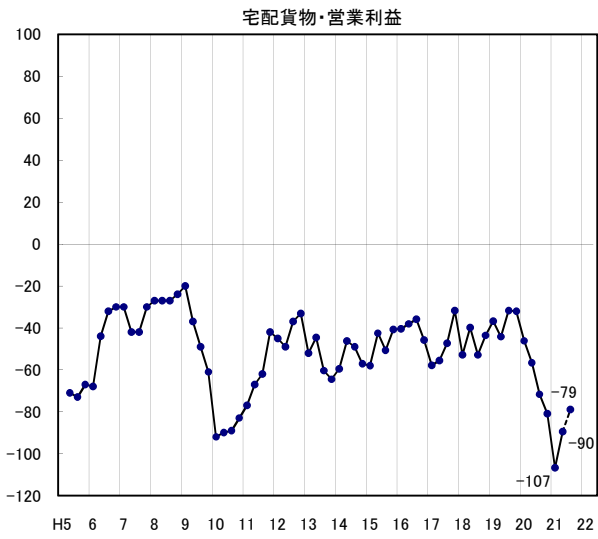


凡例  
 矢元：1-3月期の実績  
 矢先：4-6月期の実績  
 白丸：7-9月期の見通し

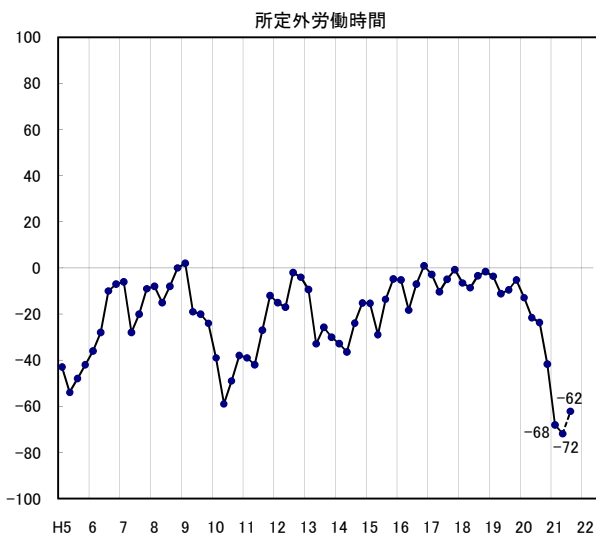
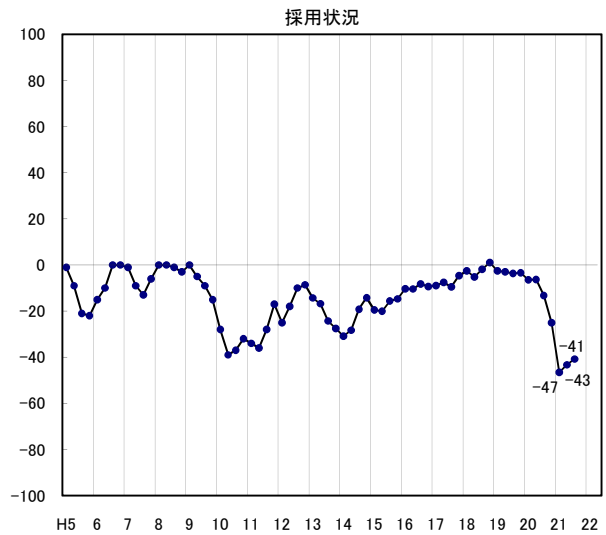
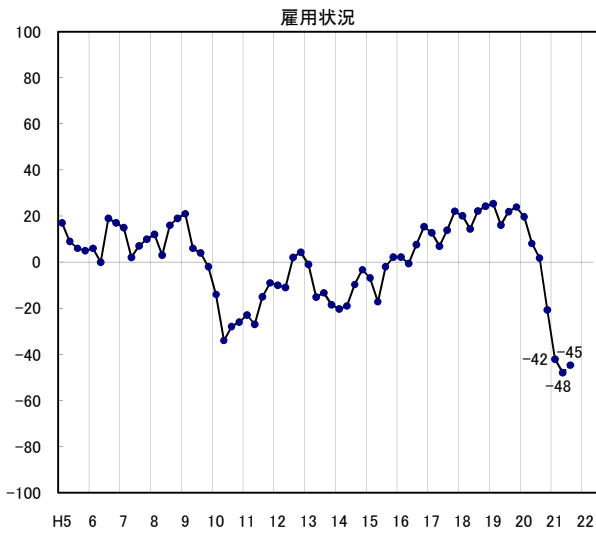
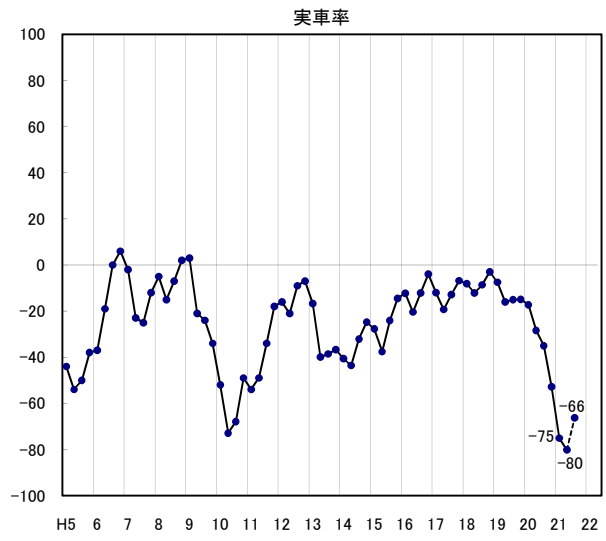
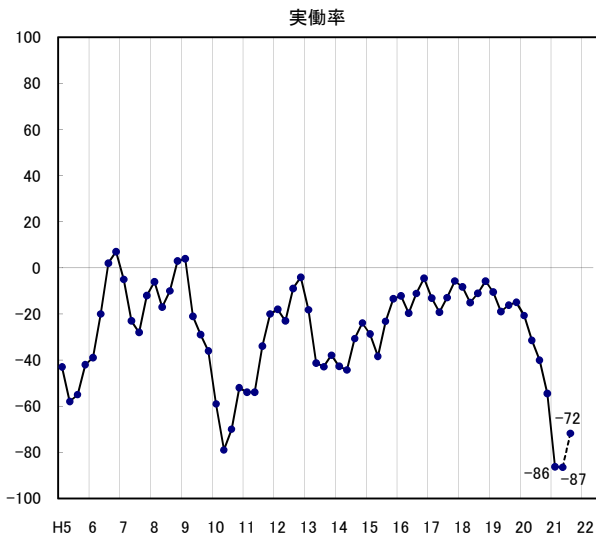
業況判断指標の推移  
 平成5年第1四半期～平成21年第2四半期実績、平成21年第3四半期見通し



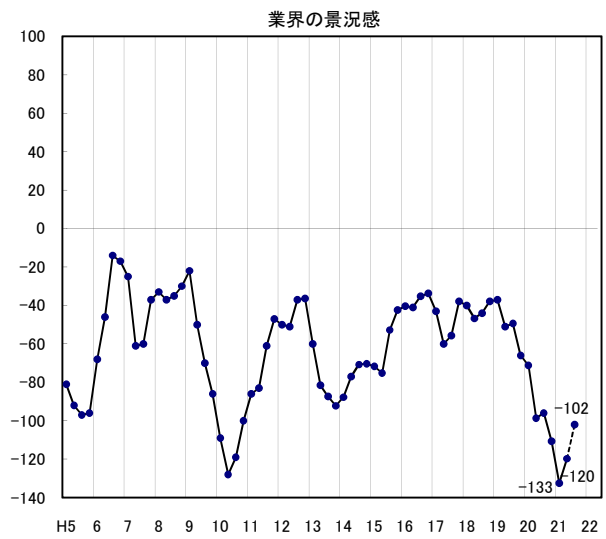
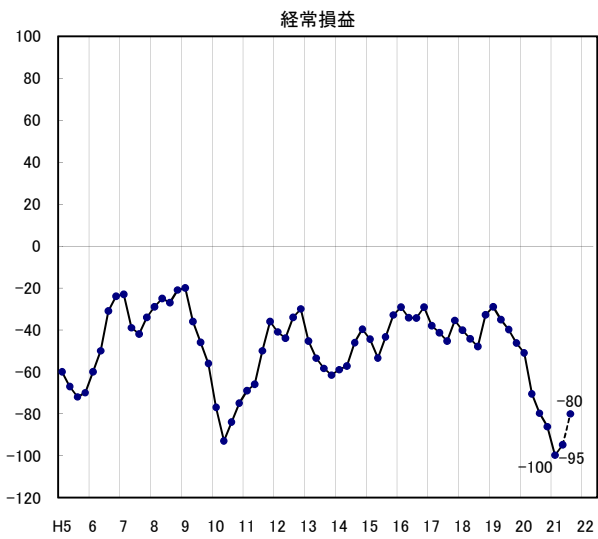
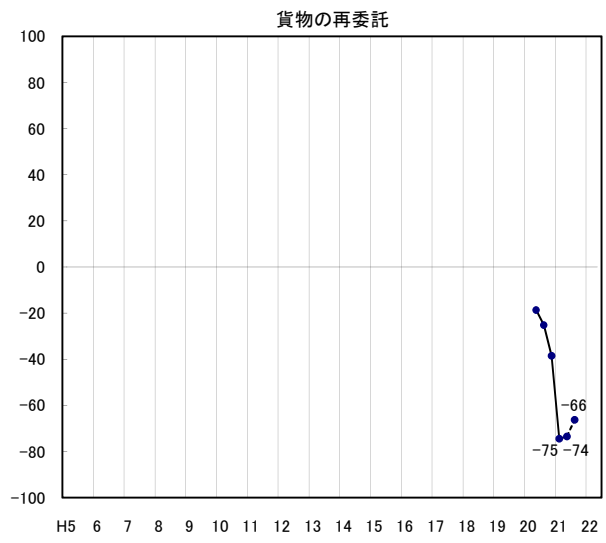
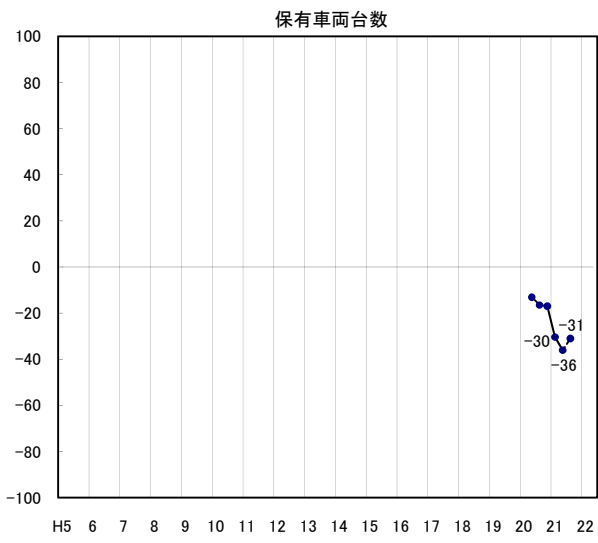
業況判断指標の推移  
 平成5年第1四半期～平成21年第2四半期実績、平成21年第3四半期見通し



業況判断指標の推移  
 平成5年第1四半期～平成21年第2四半期実績、平成21年第3四半期見通し



業況判断指標の推移  
 平成5年第1四半期～平成21年第2四半期実績、平成21年第3四半期見通し



業況判断指標の推移  
 平成5年第1四半期～平成21年第2四半期実績、平成21年第3四半期見通し

